

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第44週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (44 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。4 類感染症：つつが虫病 3 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、梅毒 2 例、破傷風 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	0~4歳	男	—	軟便、O111(VT1VT2)
			5~9歳	女	—	なし、O111(VT1VT2)
4類	つつが虫病	小林	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			90歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	80歳代	男	—	肺炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	破傷風	宮崎市	60歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は594人(定点当たり17.1)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎とヘルパンギーナであった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【感染性胃腸炎】

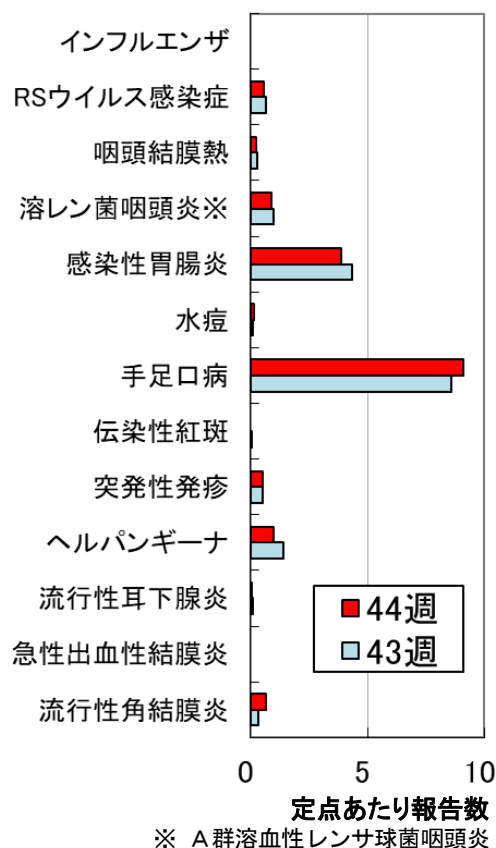
報告数は140人(3.9)で、前週比89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(7.0)の約0.6倍であった。都城(6.7)、日向(5.8)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

##### 【手足口病】

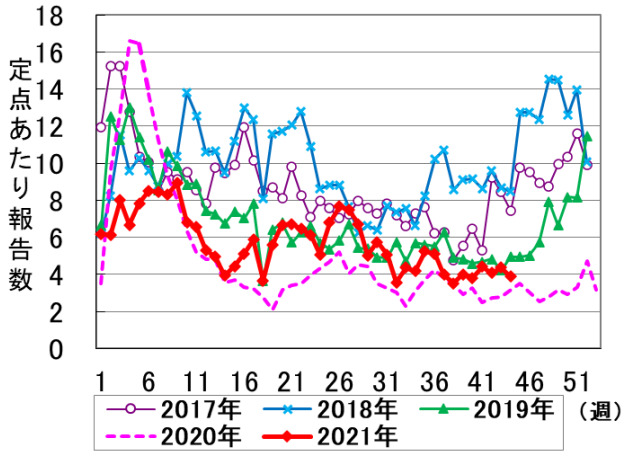
報告数は327人(9.1)で、前週比105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.5)の約6.1倍であった。中央(19.0)、小林(16.0)、宮崎市(14.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

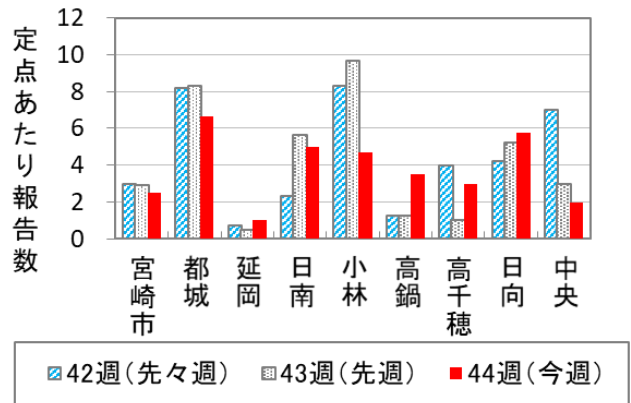
### 《前週との比較》



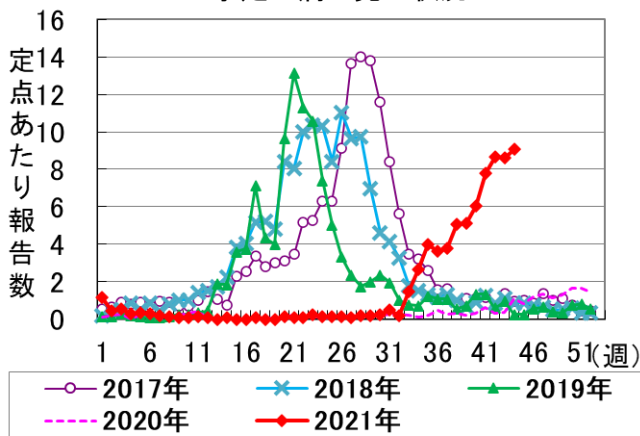
感染性胃腸炎 発生状況



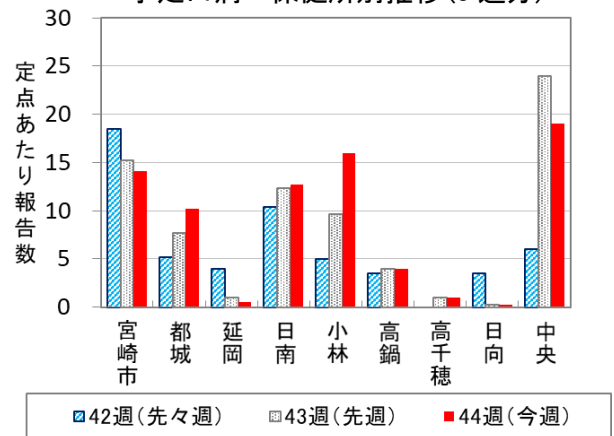
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(14.1)
都城	手足口病(10.2)
延岡	なし
日南	手足口病(12.7)
小林	手足口病(16.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(19.0)

\*流行警報レベル開始基準値\*  
・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年11月8日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	0～4歳	男	2021.10.13	腸炎、発熱(40.3℃)胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.10.21
EHEC(O111:HNM VT1,2)	5～9歳	女	2021.10.31	無症状	便	2021.11.4
EHEC(O111:HNM VT1,2)	0～4歳	男	2021.10.31	軟便	便	2021.11.4

○0～4歳の乳幼児及び5～9歳の児童から腸管出血性大腸菌（EHEC O111:HNM VT1,2）が検出された。腸管出血性大腸菌による感染症は夏季に増加する傾向にあるが、例年秋から冬にかけても発生しており今後も注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ムンプスウイルス	5～9歳	男	2021.04.11	ウイルス性髄膜炎、40.7℃、頸部硬直	髄液	2021.10.26
エコーウイルス6型	0～4歳	女	2021.07.16 2021.07.19	髄膜炎、38.4℃、嘔吐	髄液 咽頭ぬぐい液	2021.10.29
パラインフルエンザウイルス3型	0～4歳	男	2021.07.22	肺炎、40.5℃、下気道炎	鼻汁	2021.10.29

🇯🇵 全国 2021 年第 43 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	240 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	70 例				
4類感染症	E型肝炎	4 例	回帰熱	1 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	つつが虫病	6 例	日本紅斑熱	17 例	日本脳炎	1 例
	マラリア	1 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	63 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	37 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例	水痘（入院例）	7 例	梅毒	130 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	1 例	百日咳	13 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は8,215人(2.6)で前週比117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(3.5)の約0.8倍であった。大分県(5.1)、島根県、熊本県(5.0)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は4,790人(1.5)で前週比94%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.1)の約1.4倍であった。佐賀県(8.9)、宮崎県(8.6)、長崎県(6.8)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第44週(11月01日～11月07日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	23	21		12	2	2	5				
	定点当り	0.64	0.58	0.00	2.00	0.50	0.67	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	8	3	2	2			1			
	定点当り	0.28	0.22	0.30	0.33	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	36	32	3	5		17		3		3	1
	定点当り	1.00	0.89	0.30	0.83	0.00	5.67	0.00	0.75	0.00	0.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	157	140	25	40	4	15	14	14	3	23	2
	定点当り	4.36	3.89	2.50	6.67	1.00	5.00	4.67	3.50	3.00	5.75	2.00
水痘	報告数	3	6		3			1	2			
	定点当り	0.08	0.17	0.00	0.50	0.00	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	310	327	141	61	2	38	48	16	1	1	19
	定点当り	8.61	9.08	14.10	10.17	0.50	12.67	16.00	4.00	1.00	0.25	19.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	19	8	4			2	3			2
	定点当り	0.50	0.53	0.80	0.67	0.00	0.00	0.67	0.75	0.00	0.00	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	50	35	8	7		6	14				
	定点当り	1.39	0.97	0.80	1.17	0.00	2.00	4.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	2	1								1
	定点当り	0.11	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	4	3	1							
	定点当り	0.33	0.67	1.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～44週)

2類感染症	結核	108例				
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	22例(2)			
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	19例(3)
	日本紅斑熱	18例	レジオネラ症	9例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	5例(1)
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	72例(2)	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	6例(1)	百日咳	2例		
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5262例				

( )内は今週届出分、再掲